

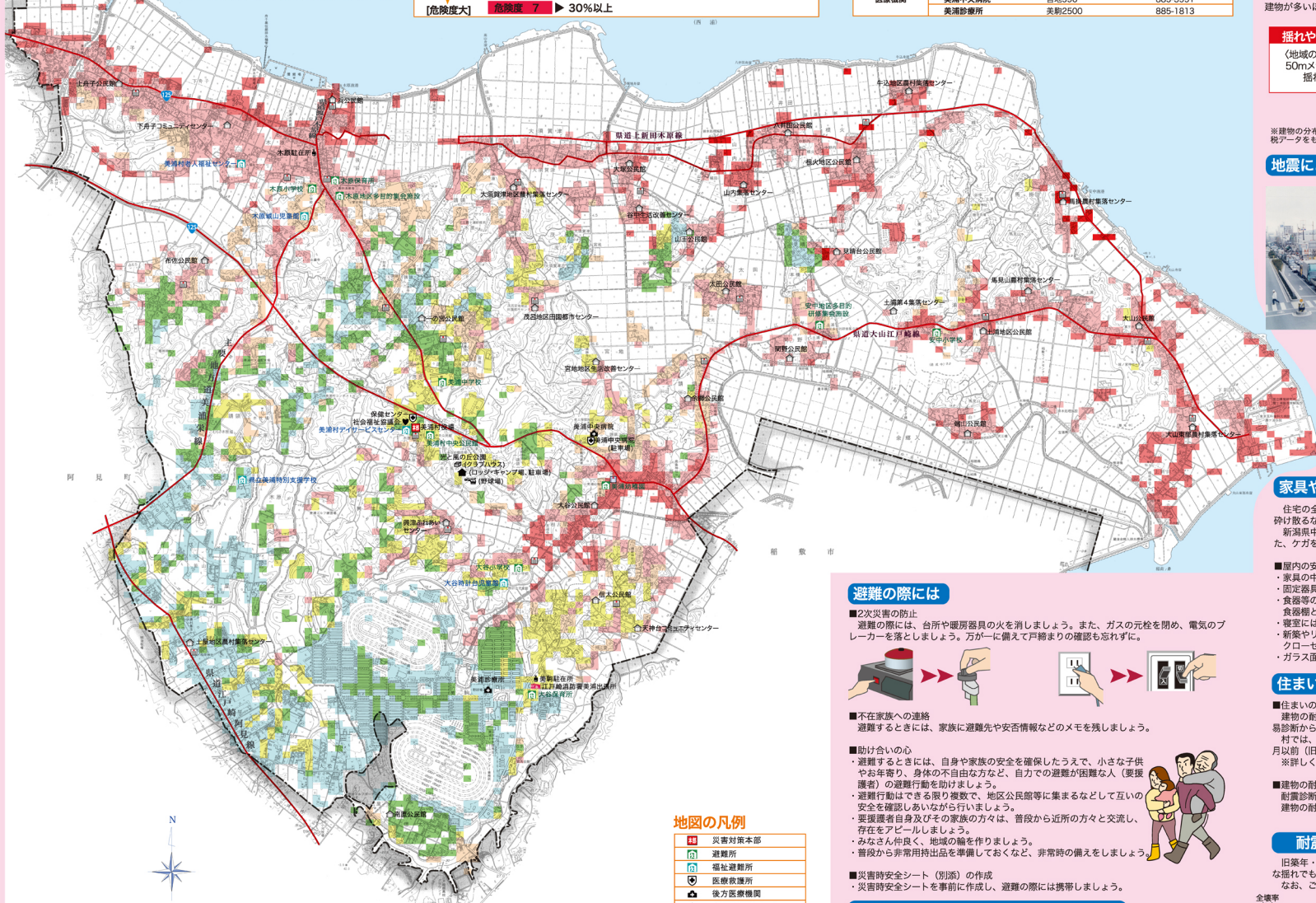
美浦村地域の危険度マップ

地域の危険度凡例 (全棟棟数率)

[危険度小] ↑	危険度 1	0~3%
	危険度 2	3~5%
	危険度 3	5~7%
	危険度 4	7~10%
	危険度 5	10~20%
	危険度 6	20~30%
	危険度 7	30%以上
[危険度大] ↓		

※白地のところは、建物被害危険度の対象となる建物がないところです。ビニールハウスや畜舎などの建物は対象外としています。

地域の危険度マップは、構造(木造/非木造)、建築年次を考慮し、美浦村全域の直下でマグニチュード6.9の地震が発生した場合の建物被害を50mメッシュで計算し、地域における全棟棟数率をもとに相対的な建物の被害の受けやすさを表示したものです。



地図の凡例

- 災害対策本部
- 避難所
- 福祉避難所
- 医療救護所
- 後方医療機関
- 応援受け入れ拠点
- 物資集配拠点
- 活用臨時レポート
- 災害ボランティアセンター
- 駐在所
- 消防署出張所
- 消防団車庫
- 地区委員会
- 国・県道
- 市町村境界

※地域の危険度マップは「地震防災マップ作成技術資料」(内閣府、平成17年)に基づいて作成しています。

防災関連施設

種別	名称	所在地	電話
美浦村役場	美浦村役場	受領1515	885-0340
消防	江戸崎消防署	稲敷市江戸崎 乙472番地	029-892-1238
	稲敷消防署美浦出張所	信太 2618-1	885-0164
警察	稲敷警察署	稲敷市高田3405-1	029-893-0110
	木原駐在所	木原485-1	885-0110
医療機関	美浦駐在所	信太2623	885-1792
	美浦中央病院	宮地596	885-3551
	美浦診療所	美助2500	885-1813

地域の危険度マップとは

地震が発生すると様々な被害が発生します。その中でも地震の揺れによって建物が被害を受けると、住居が失われるだけでなく、多くの人命が失われることになります。このため、「地域の危険度マップ」では揺れによる建物被害の受けやすさを建物被害の危険度として表示しています。

建物被害の危険度は、「揺れやすさマップ」の震度分布と地域の建物の構造・建築年代分布(字ごとに集計した値)から、阪神・淡路大震災などの最近の地震時の被害実態をもとに評価を行っています。地震のときに受ける地域の揺れが大きいほど、また、建築年代の古い建物が多いほど高くなります。

揺れやすさマップ
(地域の揺れやすさ) 50mメッシュごとの揺れやすさ

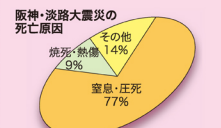
地域の危険度マップ
(建物被害の危険度) 50mメッシュごとの建物を受ける被害の程度

※建物の分布は平成24年1月の国勢アータをもとに集計しました。

地震による死亡やけがの原因



阪神・淡路大震災での死者のうち、約8割は地震直後の家具の転倒や建物の倒壊による圧死といわれています。

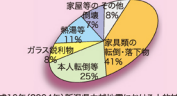


「阪神・淡路大震災調査報告 編集委員会」(阪神・淡路大震災調査報告編集委員会(2000))、厚生省大臣官房統計情報部人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況(1995.12)より作成

家具や家電製品の地震対策も忘れずに

住宅の全壊を免れても、タンスなどの家具が転倒、テレビや電子レンジが飛び、ガラスが砕け散るなど、何気ないものが一瞬にして凶器に変わります。新潟県中越地震によるケガの原因の4割以上が家具類の転倒・落下物といわれています。また、ケガをすることで避難行動に大きな支障がでることがあります。

新潟県中越地震のけがの原因



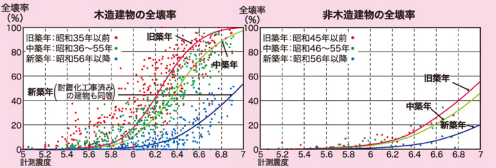
- 室内の安全を確認しましょう
 - ・家具の中心は、重いものを下に、軽いものは上におく
 - ・固定器具などで、家具や家電製品を固定
 - ・食器等の飛散防止のため、引き戸の食器棚とするか扉の開閉を防ぐ
 - ・寝室には家具や家電製品をなるべく置かない
 - ・新築やリフォームでは、通りつけの収納やクローゼットの設置につとめる
 - ・ガラス面には飛散防止フィルムを貼る

住まいの耐震性を確保しましょう

- 住まいの耐震性は大丈夫？
建物の耐震性を把握するために、耐震診断を行きましょう。耐震診断は、手軽にできる簡易診断から専門家へ依頼して実施する精密診断などがあります。村では、平成24年度事業で美浦村耐震化促進計画を策定し、この計画に基づき昭和56年5月以前(旧耐震基準)に建築された木造住宅の耐震診断を進める支援をします。※詳しくは役場都市建設課までお尋ねください。
- 建物の耐震性を確保するには
耐震診断の結果をもとに、耐震改修や建て替えなどを実施します。建物の耐震化については、信頼できる専門家にご相談下さい。

耐震化工事でこんなに違う

旧築年・中築年の建物が耐震化されると、新築年と同等の耐震性を持つようになり、大きな揺れでも壊れにくくなります。なお、ご自宅などの計測震度は、裏の揺れやすさマップを参考にして下さい。



出典: 「地震防災マップ作成技術資料」(内閣府、平成17年3月)

避難の際には

- 2次災害の防止
避難の際には、台所や暖房器具の火を消しましょう。また、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。万が一に備えて戸締まりの確認も忘れずに。



- 不在家族への連絡
避難するときは、家族に避難先や安否情報などのメモを残しましょう。

- 助け合いの心
避難するときは、自身や家族の安全を確保したうえで、小さな子どもや高齢者、身体の不自由な方など、自力での避難が困難な人(要援護者)の避難行動を助けてください。
- ・避難行動はできる限り複数で、地区公民館等にも集まるなどして互いの安全を確認しあひながりましょう。
- ・要援護者自身及びその家族の方々は、普段から近所の方々と交流し、存在をアピールしましょう。
- ・みなさん仲良く、地域の輪を作りましょう。
- ・普段から非常用持出品を準備しておくなど、非常時の備えをしましょう

避難後、家族等と連絡が取れない場合は

- 災害発生時に開設される災害用伝言ダイヤル(171)は、被災地の方の電話番号をキーにして、安否等の情報を音声で登録確認できるサービスで、加入電話、公共電話、携帯電話から利用することができます。その他にも、各事業者が提供する災害時伝言版サービス等を利用することができます。

伝言の登録方法

171にダイヤル

① 先選択

自分の電話番号をダイヤルし、室内に立て、伝言を録音する

伝言の再生方法

171にダイヤル

② を選択

確認したい相手の電話番号をダイヤルし、室内に立て、伝言を再生する